# がんばれ！郷土の五輪選手

## 早川一枝さんら五人出場

あと十五日たらずとなったオリンピック東京大会―オリンピック代表選手を五人も出した〃水上、陸上〃のまち吉原市では、去る九月五日と十四日の二回にわたり、市主催の五輪選手壮行会が盛大に行なわれました。

まず五日は水泳競技に出場する日本の中、長距離陣のエース、市立商高二年生早川一枝選手の壮行会で、市民会館大ホールに同校の生徒をはじめ、一般市民約一五〇〇人が集まり、斉藤市長、鈴木議長、渡辺教育長らが「郷土の代表として、くいのない戦績をおさめてください。健闘を祈ります」と激励し強化合宿で真っ黒に日やけした早川選手は「ご期待にそうようベストをつくします」とあいさつしました。

一方陸上競技に出場する大昭和製紙の太田富夫（三段とび）飯島恵喜（四百㍍障害）宮崎欣也（走高とび）鈴木章介（十種競技）の四選手の壮行会は十四日市体育館で行なわれ、早川さん同様市民の声援をうけました。

写真は声援の中をパレードする早川選手

## 「法の日」によせて

一市民生

〃法の日（十月一日）〃のテーマの中に「悪法であることを主張して暴力を正当化することは許されない…」という一節がある。もつともなことである。ところが現実はどうであろうか。法にたてをついているかどうか、むずかしい精神的な診断はさておき自由権利のはきちがいから、各個人の基本的人権を侵害している事例があまりにも多いのではなかろうか。

民主々義の生命は、個人の自由にある。しかしその自由も他人の自由と共存するばあいだけ、存在価値を発揮できるもので、ひとりよがりの自由はしよせんありえないのである。そしてその自由の共存を保障するものが法というわけである。

理屈はさておき現実をみてみよう。もつとも身近なものに交通問題がある「交通法規を守つて正しく歩いていたのに…」悲惨な事故禍は増えるばかりで、法も何にもあつたものでない。勿論加害者の方にも言い分はあろう「気をつけても道路がせまい、法が矛盾している」しかしこれでは暴力を完全に肯定していることになり、法治国日本の信用はなくなるばかりだ次に公害がある。ばい煙騒音、臭気、汚水等々公害と名のつくものは産業の発展とともに出てくるものだ。旧聞になるがこんな風評を耳にした「公害というが、うちの社のばい煙という確かな証拠があるのか、それとも名でもはいつているのかな」かけあつても全く話しにならなかつたというこれでは死を急がされているようなものだ。

私はあえていわざるをえまい。

すべて人間は生まれながらにして、誰にも侵されない生命、自由、幸福を追求する権利をもち、それは〃法〃によつて守られ、各自が守らなければならないことを――

（原田・28）

## 汲み取り料正しく

### 市が衛生社に要請

〃法の日〃にこのようなことを主張して暴力を正当化することは許されない…」という一節がある。もつともなことである。ところが現実はどうであろうか。法にたてをついているかどうか、むずかしい精神的な診断はさておき自由権利のはきちがいから、各個人の基本的人権を侵害している事例があまりにも多いのではなかろうか。

民主々義の生命は、個人の自由にある。しかしその自由も他人の自由と共存するばあいだけ、存在価値を発揮できるもので、ひとりよがりの自由はしよせんありえないのである。そしてその自由の共存を保障するものが法というわけである。

理屈はさておき現実をみてみよう。もつとも身近なものに交通問題がある「交通法規を守つて正しく歩いていたのに…」悲惨な事故禍は増えるばかりで、法も何にもあつたものでない。勿論加害者の方にも言い分はあろう「気をつけても道路がせまい、法が矛盾している」しかしこれでは暴力を完全に肯定していることになり、法治国日本の信用はなくなるばかりだ次に公害がある。ばい煙騒音、臭気、汚水等々公害と名のつくものは産業の発展とともに出てくるものだ。旧聞になるがこんな風評を耳にした「公害というが、うちの社のばい煙という確かな証拠があるのか、それとも名でもはいつているのかな」かけあつても全く話しにならなかつたというこれでは死を急がされているようなものだ。

私はあえていわざるをえまい。

すべて人間は生まれながらにして、誰にも侵されない生命、自由、幸福を追求する権利をもち、それは〃法〃によつて守られ、各自が守らなければならないことを――

（原田・28）

## 福祉年金　時効せまる

### 請求手続はいますぐに

昭和三十六年、拠出制（かけ金をする）国民年金制度が発足し、国民のだれもが、いずれかの年金制度に加入でき、老後や不慮の事故にあつた時など保障がされるようになりました。

しかし、拠出制の国民年金に加入できない高令者やすでに母子世帯、身体障害者であつたりして、生活に困つている人はこの保障からもれてしまいます。このため昭和三十四年十一月一日、無拠出の福祉年金制度がもうけられました。

現在、吉原市で福祉年金を受けている人は二〇一六人、支給年金額二千四百万円に上ちていますが、まだ年金を受ける権利がありながら請求していない方がいるようです。

年金を受けるには市の保険課を通じて県に書類を提出し、裁定を受ける手続きが必要です。

この裁定を請求できる期間は、年金受給権が発生してから五年間と決められています。

今年の十月三十一日で、福祉年金制度が始まつてちようど満五年になります。

昭和三十四年十一月一日の制度ができた当時から次のような年金を受ける権利のある人は、至急市役所で請求手続をすませてください。十月三十一日をすぎると年金を受けることができなくなります。

①70才以上であつたひと

②眼がみえない、耳がきこえない、両手、両足首がないなど、誰かの世話にならなければ日常の生活ができないいどのひと

③母子世帯で、義務教育終了前の子どもや、②のような20才未満の子どもと生活しているひと

## 電話移転の申込みお早く

「大工さんが今うちをこわし始めたからすぐきてくれ…」と電話の移転を急に申し出る方があります。

最近道路の拡張工事やビルの新築がさかんに行なわれていますので、電話の移転工事がこみ合つていますこのため急な注文には応じられないことがあります。

といつて、自分勝手に電話機や配線を動かすと故障の原因になり、電話がかかりにくくなつたり、聞こえにくくなつたりして迷惑をかけることになります。このようなことがないように、電話の移転工事は早目に申し出てください。

甲町から乙町への移転は十日くらいまえに、同じ敷地内の移転は五日くらいまえに申し出てください。

※お問い合わせは吉原電報電話局電話営業課加入係へ（電話②一二三四）

## 成人学校　みて歩き

### 精神的なゆとりを

### 男性も学ぶ茶道教室

この号では婦人会館の茶道教室をたずねてみることにしました。

茶道教室は市民会館（煎茶）と婦人会館（抹茶）で毎週月曜日と木曜日に開かれています。講師は佐野先生と涌田先生で、生徒数は両教室で約一二〇名、年令も一八才から四五才とはばひろく、出席率も平均七五パーセントの好教室です。

抹茶を教える涌田先生は「今の機械化時代には、落ち着いた時間をもつということが必要だと思うのですからお茶をならうことによつて　人に対する感じをよくし、自然に静かなふんい気に入れるという、目にみえない精神的なものを身につけてほしいですね」といつています。生徒さんの一人二十七才の男性は「僕がお茶をはじめた動機というのは、何んでも見てやろう、やつてやろうという気持と日本人として伝統あるお茶の作法ぐらい知つていなければという気持からなんです　茶道というと何かふるいように感じていたが、作法などが合理的にできているのでおどろきました。成人学校だけではなく個人の先生についてもつと茶道というものを知りたいと思つています」と茶道のもつ魅力にひきつけられたようです。

なにはともあれ、今日では世界的に有名になつた日本の茶道です。茶道という言葉の堅苦しさや作法にとらわれず、お茶を習つたので日常生活にうるおいがでてきたというものを身につけ、たとえわずかな時間でも静かな自分の生活というものを持つようにしたいものです。

お手前のほどは……（婦人会館）

## 人権相談開く

静岡地方法務局吉原支局と吉原人権擁護委員協議会では無料人権相談を次によりおこないます、人権問題や一般法律問題でお困りの方はご利用ください。

◇とき＝10月2日、午前10時から午後3時まで

◇ところ＝市民会館

## 今月の納税

固定資産税　3期分

保険税　6期分

早めに納めるように

## 不用犬買います

28日原田、須津、元吉原支所で

衛生課ではいらなくなつた犬を買いあげますので次の会場へおもちください。

▽買上げ日―9月28日

▽会場―元吉原支所（午前10時～11時）　須津支所（午後1時30分～2時）　原田支所（午後2時30分～3時）

⊙印かんと犬の手帳を持参してください。

## 9月メモ

（衣）かえり残暑も彼岸までといいます。もう夏着はさわやかにころもがえして、気分を一新させましょう。

夏物は念入りに洗い、クリーニングに出すものは出し、十分防湿、防虫に注意をしてしまいます。しみやよごれをそのままにしておくと、変色したり、虫にくわれたりして、来年着られなくなることがあります。

さて秋支度はいかがですか。変わりやすい秋の空に、すぐ役立つチヨツキやカーディガン、こどものセーターなど、いそいで編みはじめましよう。

（食）夏がれだつた野菜類も、そろそろ出回つています。サトイモ、さつまいも、秋なすなど。とくにサトイモはおいしく、ただゆでるか蒸すかして、ユズの皮をすりおろしたショウガじようゆでたべると風味満点です。

日本はくだものの天国。ぶどうのデラウエア、なしの長十郎、早生のリンゴ、くり、かきなど、たくさんたべましよう。

お魚ではキスがおいしい。いきのいいのはオサシミにしてもよく、また酢で洗つてショウガのうす切りといつしよに酢みそあえにしてもおいしい。

（住）農家では秋の収穫期をひかえて、台所の能率化を考えてみてください。まず台所の不要品を整理し、農繁期中必要な保存食や留守居のこどものおやつの入れ場所をきめ　清潔に整えておきましよう。土間に簡単なテーブル、イスなどをおいて、食堂風に工夫した農家も見受けます…忙しいときは手軽な改造はいかがでしよう